

第8回 特別支援教育に関するセミナー 参加申込書

平成29年12月9日(土)

会場：九州産業大学

※ FAXにて申し込み確認証を返信致しますので、お受け取り可能なFAX番号の明記をお願い致します。

◎ 個人申し込み用 (区分に○を付けて下さい。)

特別支援教育に関するセミナーに参加を申し込みます。					
お名前					
所属・勤務先		役職			
区分：幼稚園職員・保育園職員・小学校職員・中学校職員・高等学校職員・特別支援学校職員・大学教職員・保護者 学生・教育機関・支援機関・行政機関・その他（ ）					
連絡先 (電話番号)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> その他	TEL:	FAX:	
希望される分科会 (□にチェックを入れて下さい。)					
希望される 分科会	1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □

◎ 団体申し込み用 (区分に○を付けて下さい。)

特別支援教育に関するセミナーに参加を申し込みます。						
所属・団体名						
区分：幼稚園職員・保育園職員・小学校職員・中学校職員・高等学校職員・特別支援学校職員・大学教職員・保護者 学生・教育機関・支援機関・行政機関・その他（ ）						
代表連絡先 (電話番号)	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯	TEL:		FAX:		
お名前	役職	希望される分科会 (□にチェックを入れて下さい。)				
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □

※ ご希望頂いた以外の分科会に関しましても、参加可能です。

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

※この個人情報は、本セミナーに関することのみを使用し、セミナー終了後破棄致します。

FAX番号：092-606-2846

立花高等学校

事務局 担当：濱本

第8回 特別支援教育

(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)

に関するセミナー

— 発達障がいのある児童・生徒への支援 —

平成29年12月9日(土) 開催

実施要項

主催

福岡こどもたちのセーフティネット研究会

主管

西日本短期大学附属高等学校・希望が丘高等学校

博多高等学校・立花高等学校

協力

九州産業大学

後援

福岡県 ・ 福岡市 ・ 北九州市

福岡県教育委員会 ・ 福岡市教育委員会 ・ 北九州市教育委員会

福岡県私学協会 ・ 福岡県私学教育振興会

第8回 特別支援教育

(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)に関するセミナー
— 発達障がいのある児童・生徒への支援 —

実施要項

1. 主 旨 近年、不登校や社会的不適応の背景に発達障がいや心身症などに悩む若者が増えています。また、学習困難やいじめ、或いは家庭環境による二次障害などにより、学校教育や就職離脱の若者が増加し、今後の日本社会に大きな影響を及ぼすことにもなりかねません。このため、学校教育をはじめとして、家庭・福祉・労働・医療・社会等の広範囲な領域における連携が重要な課題となっており、理解者及び指導者の育成が急務となっています。
本セミナーでは、この問題の研究、実践及び実態に関する情報の共有や啓発を図ると共に子どもたちの健やかな成長を願い、支援するためのセーフティーネット構築を目指した学びの場となることを本セミナーの目標としています。
そして特別支援教育という幅広いテーマを基盤として、保護者・医療関係者・カウンセラー・教員等、関係して支援する立場の全ての方々が互いに孤立することなく、共に手を携えていくことができるきっかけの場となることを切望しています。
2. 日 時 平成29年12月9日(土) 9:20 ~ 17:00
3. 会 場 九州産業大学 1号館 2階 S201番教室 及び 各分科会場
4. 対象者 特別支援教育(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)に関心のある教育関係者及び関係諸機関、保護者、学生 等どなたでも参加できます。
5. 申 込
 - ① 参加費 無 料 福岡県私学教育振興会助成事業
 - ② 申込〆切 平成29年11月24日(金)
 - ③ 申込方法 折り込みの申込書(各校ホームページよりのダウンロード可)に必要事項を記入の上、郵送あるいはFAXにて申し込んで下さい。
また昼食につきましては九州産業大学の食堂を御利用下さい。
 - ④ 申込先 事務局：〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目24-43
立花高等学校 セミナー事務局 担当：瀨本 まで
TEL：092-606-2792 FAX：092-606-2846

※ 当日収容人数の関係から、定員600名にて締め切らせて頂きます。

6. 日 程 8:50 9:20 9:50 12:00 13:30 14:30 14:50 15:50 16:10 16:55 17:00

受付	開会行事	基調講演	質疑応答	昼食	実践発表会A	質疑応答	休憩	実践発表会B	質疑応答	休憩	各分科会にて自由意見交換	分科会にて閉会
----	------	------	------	----	--------	------	----	--------	------	----	--------------	---------

I . 開会行事 会場：1号館 2階 S201番教室

全体司会：博多高等学校 田村 奈月美 希望が丘高等学校 吉村 茉耶 立花高等学校 星野 優佳

- ① 開会宣言 博多高等学校 校長 綾部 和博
- ② 記念イベント 西日本短期大学附属高等学校 吹奏楽部
- ③ 委員長あいさつ 西日本短期大学附属高等学校 校長 樋口 文則
- ④ 来賓あいさつ 福岡市教育委員会 生徒指導課長 泉 敦哉
九州産業大学 学 長 山本 盤男
福岡県私学振興会 専務理事 上野 淳吉
- ⑤ 日程説明・諸連絡 事務局

【プロフィール】

1961年、岩手県生まれ。
1990年、筑波大学医学専門学群 環境生態学 卒業。医学博士。
爽風会佐々木病院精神科診療部長（1987年より勤務）を経て、2013年より筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。また、青少年健康センターで「実践的ひきこもり講座」ならびに「ひきこもり家族会」を主宰。
専門は思春期・青年期の精神病理、および病跡学。著書に「文脈病（青土社）」「社会的ひきこもり（PHP研究所）」「ひきこもり救出マニュアル（PHP研究所）」「ひきこもり文化論（紀伊國屋書店）」「生き延びるためのラカン（バジリコ）」「ひきこもりはなぜ『治る』のか？（中央法規出版）」「ひきこもりのライフプラン」（島中雅子との共著）岩波書店 「オープンダイアログとは何か」（医学書院）

III . 分科会シンポジウム 及び グループ自由討議

第1分科会 「登校支援」

実践発表A：福岡市教育委員会

生徒指導課 主任指導主事 春田 葉子 先生

教育相談課 指導主事 小牧 志有 先生

「福岡市における不登校児童生徒への支援」
全国的に、不登校児童生徒を含めた長期欠席児童生徒数が年々増加している傾向にあります。これらの児童生徒に対し福岡市が行っている取り組みを、実践事例と共にご紹介いたします。

実践発表B：角川ドワンゴ学園N高等学校

入試広報部 部長 中島 武 先生

「ネットの高校の在宅生が自ら、通学したいと言ってきた時」N高等学校は、インターネットシステムを活用した、自宅に居ながら全ての高校生活を過ごすことのできるネットの高校として開校しました。ところが、開校後、ネット上で高校生活を過ごしている生徒達から要望が出てきました。「通学コースを作って欲しい」何故？ その理由が、生徒が学校を求めるヒントの一つでした。

第2分科会 「学習支援」

実践発表A：筑紫野市立筑山中学校

教諭 池松 悟子 先生

通級指導教室の役割と連携について ①通級指導教室の役割が療育や学力補充だけでなく、この先社会に出ていくための自己理解や社会スキルを高めることであり、実生活の中でそのスキルを活用できることを念頭に行ってきた指導について ②進路実態、県のサポートノートを活用した引継ぎシートを基にした個別の支援計画の必要性や、高等学校から先の支援の困難さ、見通しについて

実践発表B：東京都立 大江戸高等学校

副校長 太田 久人 先生

- ・単位制・総合学科・三部制（昼夜間定時制）であるチャレンジスクールのシステムについて
- ・東京都立大江戸高等学校の特色と学習支援に関する取組について

第3分科会 「生活支援」

実践発表A：法務省福岡少年鑑別所

地域非行防止調整官 臨床心理士 前里 光作 先生

全国の少年鑑別所では、地域社会の非行・犯罪防止のために、一般の方や学校の先生方が気軽に相談できるような援助業務を行っています。非行を有する子供やその保護者に対して当所が行っている取組の一部をご紹介します。

実践発表B：立花高等学校

教諭 内山 靖博 先生

教諭 中川 貴史 先生

様々な刺激が多い学校生活において、上手に対応できずチャレンジング行動という形で困り感を出している生徒が近年増えてきています。そのような生徒に対して、学校、学年団そして担任として、どのような方法で支援・対応していけばよいか、事例を挙げて報告します。

第4分科会 「就労支援」

実践発表A：社会福祉法人 柚の木福祉会

理事長 白谷 憲生 先生

「柚の木ライフステージ と 柚の木キャリアステージ」

実践発表B：希望が丘高等学校

自動車科 科長 安部 幹也 先生

「企業との連携による交通安全教育教習及び資格取得」
(株)おんが自動車学校との連携によるTSE講座。現在の交通社会に適した安全教育及び運行管理者講座にて労基法・道交法を学び専門的教育を受けた人材を自動車産業界に送り出す取り組みをご紹介します。

第5分科会 「関係諸機関との連携」

実践発表A：ぼちぼちの会

代表 志賀 美代子 先生

不登校の保護者同士の語り合いの場です。アドバイザーの方も交えて悩みを分かち合っています。子どもの進路のことなどもアドバイスをもらっています。

実践発表B：放課後等デイサービス「フィット馬出」

係長・発達支援管理責任者 石川 和則 先生

高校生を対象に、家庭でもない学校でもない第3の居場所として、居心地の良い場を提供するとともに、「将来はたらく大人になる準備を少しずつしましょう」をコンセプトにプログラムを組み支援をしています。